



## 秋の研修会 安曇野市 拾ヶ堰を巡って

秋も深まりはじめ、朝夕はめっきり冷え込む様になりました。皆様におかれましては益々、ご活躍のことと存じ上げます。

過日は、中信地区社会教育委員連絡協議会秋の研修会を開催しました所、各市町村の社会教育委員の皆様をはじめ、多くの方々にご参加いただきました。ご多用の中、ありがとうございました。

本年度の秋の研修会は安曇野市を会場に、安曇野市が誇る灌漑施設拾ヶ堰について、講義をお聴きし、併せて現地研修を行いました。

研修Ⅰの講師、安曇野市堀金公民館館長でいらっしゃる山田賢一さんからは、「子どもたちの学びが地域を動かす ～拾ヶ堰クリーン大作戦～」と題し、安曇野市立堀金小学校と堀金地域のコミュニティ・スクール事業における地域学校協働活動での取組と活動事例をご紹介いただきました。地域を流れる拾ヶ堰をきれいにする子どもたちには、先人より受け継がれてきた地域財産を大切にしていこうとする思いが溢れています。また、そのような思いが主体的な拾ヶ堰清掃につながっているということ、研修Ⅰの講義でうかがい知ることができました。地域とともにある学校という理念は、コミュニティ・スクール事業の根幹にあります。地域財産を介して地域と学校がつながるという活動は、これからも大切にしていって欲しいものです。



研修Ⅱの講師、長野県拾ヶ堰土地改良区事務局でいらした青柳和義さんからは、「拾ヶ堰の歴史と見学先の説明」と題し、世界灌漑施設遺産に登録されている拾ヶ堰の歴史と施設の概要についてご講義いただきました。安曇野市の水不足問題を解消するために1816年に開削、その3ヶ月後には拾ヶ堰の完成に至ります。拾ヶ堰の完成により300ヘクタールもの水田を開くことができたということです。更に技術が進歩し、現在の水田は1000ヘクタールに広がっています。また、拾ヶ堰を造るための最大の関門は大きな流れの梓川を横切ることでした。そんな最大の関門は、サイフォンを利用した工法により解消します。技術を駆使して造られた拾ヶ堰は安曇野市を潤す灌漑施設となっています。



研修Ⅰ、研修Ⅱの後には現地研修ということで、拾ヶ堰の要所を実際に巡りました。初めに奈良井川にある拾ヶ堰頭首工を訪れました。拾ヶ堰の取水は、主に奈良井川より行っています。そして現在は、拾ヶ堰頭首工での取水について、ほとんどがコンピューター制御されているとのことでした。次は、サイフォン工事で使用したシールドマシンの見学です。参加者より青柳さんへの質問に、この展示さ



れているシールドマシンは他のサイフォン工事には使用されないのかというものがありませんでした。青柳さんのお話だとサイフォンと言っても場所ごとに形状が異なるため、シールドマシンの再利用はできないとのことでした。講義だけではなく、現地研修でも詳しく拾ヶ堰についてお話しいただきました。この拾ヶ堰のサイフォン工事で使用したシールドマシンを見学した参加者はその大きさにも驚いていました。また、拾ヶ堰の眺めがきれいな安曇野市じてんしゃひろばを訪れた参加者は「拾ヶ堰両脇の花が満開の頃に来たいね。」とお話していました。現地研修の最後には、堀金小学校前にある拾ヶ堰を訪れました。堀金小学校前の拾ヶ堰は、そこまでは西に向かっていた流れが急に北に変わる場所であり、独特な形状をしています。ここは山田さんの講義にあったクリーン大作戦を行っている場所でもあります。バスに乗車したままでの見学になりましたが、講義にあった場所を実際に訪れることができ、「ここがクリーン大作戦をやっている場所なんだね。」と参加者が感想を述べていました。

安曇野市社会教育委員の皆さん、社会教育事務局の皆さんのご準備、運営により、安曇野市のすばらしさを感じることができ、参加者ご自身の市町村を振り返ることができる研修会となりました。安曇野市社会教育委員の皆さん、社会教育事務局の皆さんご準備、運営等ありがとうございました。以下は、参加者の感想になります。

◎子どもたちが自分たちで始めた活動に、地域教育関係者や地域学校協働本部が加わった活動になっていることが素晴らしいと感じました。子どもたちに拾ヶ堰への誇りや愛着、ゴミを無くしたいとの願いを持たせるような取り組みがあったと考えられ、感心しました。

◎子どもたちが率先して活動を始め、地域へ広がった活動ということに驚きました。ぜひこのような活動が増えればいいなと思いました。

◎大変熱心にご説明下さり、青柳先生が長年情熱をかけて研究してこられたことに感動しました。

◎講義時間が短く少し残念でした。資料がしっかりしていてわかりやすくありがたかったです。

◎秋の研修会がたいへん良かった。拾ヶ堰クリーン大作戦の結果も見学できました。

地元に住んでいて、初めて見学を含み拾ヶ堰について学ぶことができ、たいへん感激しました。

◎バスの中での説明が具体的でわかりやすかったです。

研修会で行くことができなかった場所についても現地を見ながらお話を聴きたいです。

参加者にとって、秋の研修会の目的を満たす有意義な研修会となりました。